

日本混相流学会 2010 年度第 5 回理事会・議事録

日時： 2011年7月9日（土） 13:00-17:00
 場所： 東京工業大学
 原子炉工学研究所 北2号館6階 会議室

出席者：

三島会長、佐田富筆頭副会長、富山副会長、功刀副会長、木倉情報部会長、辻本企画部会長、大川国際部会長、齊藤総務部会長、大参理事、中野理事、岡本理事、小泉理事、加藤理事、川原理事、西山論文審査委員長、南川レクチャーシリーズ運営委員長、近藤事務局長

議題と配布資料：

1. 前回議事録の確認 [資料 2010-5-01]
2. 会長選挙結果について [資料 2010-5-02]
3. 次年度理事・役員について [資料 2010-5-03]
4. 学会賞・名誉員の選考結果について [資料 2010-5-04]
5. 情報部会報告
 - ・情報部会活動報告 [資料 2010-5-05]
 - ・論文審査委員会報告 [資料 2010-5-06]
6. 企画部会報告
 - ・研究企画委員会報告 [資料 2010-5-07] [資料 2010-5-07-02]
 - ・混相流レクチャーシリーズ 36 会計報告 [資料 2010-5-08]
 - ・OMF 準備状況報告 [資料 2010-5-09]
7. 国際部会報告 [資料 2010-5-10]
8. 総務部会報告
 - ・総務部会報告 [資料 2010-5-11]
 - ・2010 年度総会資料 [資料 2010-5-12]
9. 年会講演会・混相流シンポジウム実行委員会報告
 - ・2010 年会講演会について [資料 2010-5-13]
 - ・2011 年会講演会開催地について [資料 2010-5-14]
10. その他
 - ・NB ワーキンググループ委員について [資料 2010-5-15]
 - ・次回理事会の日程について

議事：

1. 前回議事録の確認

資料 2010-5-01 に基づき、齊藤総務部会長から 2010 年度第 4 回議事録（案）の説明があり、案どおり承認した。また、混相流シンポジウムの学術会議主催手続きについて、三島会長より説明があり、下記の注意点が挙げられた。

- ・ 学術会議の会員の改選が 9 月に行われるため、情報を入手する必要がある。
- ・ 秋頃に来年度の開催について、会長から学術会議側にアプローチする必要がある。
- ・ 力学基盤分科会が受け皿となり、幹事会に提案する（今年は 4 月 5 日に開催）

2. 会長選挙結果について

大川選挙管理委員長から、2011 年度会長選挙の開票結果について報告があり、承認した。

3. 次年度理事・役員について

資料 2010-5-03 に基づき、佐田富筆頭副会長から次年度理事・役員について説明があり、オーガナイズド混相流フォーラム実行委員長を小泉理事、ICeM 委員長を木倉理事に委任することで、承認された。

4. 学会賞・名誉員の選考結果について

資料 2010-5-04 に基づき、佐田富表彰委員長から学会賞・名誉員の選考結果について説明があり、承認された。

5. 情報部会報告

・ 編集委員会報告

資料 2010-5-05 に基づき、木倉情報部会長から編集委員会の活動報告があり、了承した。また、下記の件につき審議を行った。

- ①2011 年度編集委員会委員について説明があり、承認した。
- ②ICeM News Letter の発刊方法について説明があり、従来通り別冊のままとすることにした。
- ③執筆要項の改定について承認した。この結果、手書き、ノンオフセットは原則として認めないこととした。
- ④震災一年後の記事および学会 25 周年の記事について、混相流学会として何か提言をする必要があるとの意見があり、次年度、理事会の下に WG を作ることとした。

・ 論文審査委員会報告

資料 2010-5-06 に基づき、西山論文審査委員長から、論文審査委員会活動報告があり、了承した。さらに、2011 年度論文審査委員について説明があり、承認した。

6. 企画部会報告

・ 研究企画委員会

資料 2010-5-07 に基づき、辻本理事より、企画部会活動報告があり、了承した。さらに資料 2010-5-07-02 に基づき、小泉理事より、活動状況中間報告があり、了承した。

・ 混相流レクチャーシリーズ 36 会計報告

資料 2010-5-08 に基づき、南川レクチャーシリーズ運営委員長より、混相流学会レクチャーシリーズ 36 の会計報告があり、了承した。

・ OMF 準備状況

資料 2010-5-09 に基づき、小泉理事より、OMF の準備状況の報告があり、了承した。

7. 国際部会報告

資料 2010-5-10 に基づき、大川国際部会長から国際部会の活動報告があり、了承した。また、来年度の予算に ICMF 若手支援金を組み込むことを承認した。

8. 総務部会報告

資料 2010-5-11 に基づき、齊藤総務部会長から総務部会活動報告があり、了承した。さらに、三島会長より、法人化検討資料の修正版について説明のうえ、当面、任意団体のままとする前回理事会の決定を総会で報告する旨の説明があり、これを了承した。

資料 2010-5-12 に基づき、齊藤総務部会長から総会資料について説明があり、各部会の活動報告

と決算書および予算案を修正し、再度、メール審議することとした。

9. 年会講演会・混相流シンポジウム実行委員会報告

- ・2010 年会講演会について

資料 2010-5-13 に基づき、功刀年会実行委員長から 2010 年会・混相流シンポジウムの準備状況について説明があり、了承した。

- ・2011 年会講演会開催地について

岡本理事より、2011 年会講演会の開催地について提案があり、開催地を東京大学柏キャンパス、開催期間を 8 月 10～12 日とすることで、承認した。なお、学生会の開催時期については再度審議を行うこととした。

10. その他

- ・NB ワーキンググループ委員について

資料 2010-5-15 に基づき、辻本企画部会長から NB ワーキンググループ委員の依頼について説明があり、打診することを承認した。

- ・英文ジャーナルについて

岡本理事より、英文ジャーナル発刊について現在までの経緯の説明があった。これに関連し、富山理事より、混相流関係のジャーナルの状況について補足説明があった。これに対して、以下のよう意見があり、理事会として継続審議することとした。

- ・別な方法での情報発信（Web でアブストラクトを配信）してはどうか？
- ・ICMF、日欧、日米のペーパーを纏める。→コピーライトをとっておらず、難しい。
- ・メリットはあるか？（西山論文審査委員長）
- ・インパクトファクタを上げる戦略が必要（中野理事）

- ・混相流国際会議プロシーディングのアーカイブ化

ICMF ガバニングボードから、これまでの混相流国際会議のプロシーディングをアーカイブ化し当学会で管理することの可能性について照会があり、これについては、アーカイブ化は可能であるが、著作権の問題が懸念されるので、そのことについてガバニングボードに確認することとした。

- ・講演会論文集表紙について

資料 2011-5-13 に基づき、功刀年会実行委員長から講演会論文集の表紙について説明があり、了承された。さらに、表紙のデザインに関して提案があり、「年会講演会 講演会論文集表紙デザインは、学会誌の旧表紙デザインを基本とし、配色は年会実行委員会で決める。ただし、独自の表紙デザインを採用することを阻まない」ことをガイドラインとすることを承認した。

また、シンポジウム資料の裏表紙の学会ロゴマークは削除することとした。

- ・次回理事会について

次回理事会は、8 月 8 日（月）京都工芸繊維大学 60 周年記念館 2F 会議室にて開催することとした。

以上

総務委員長：齊藤泰司